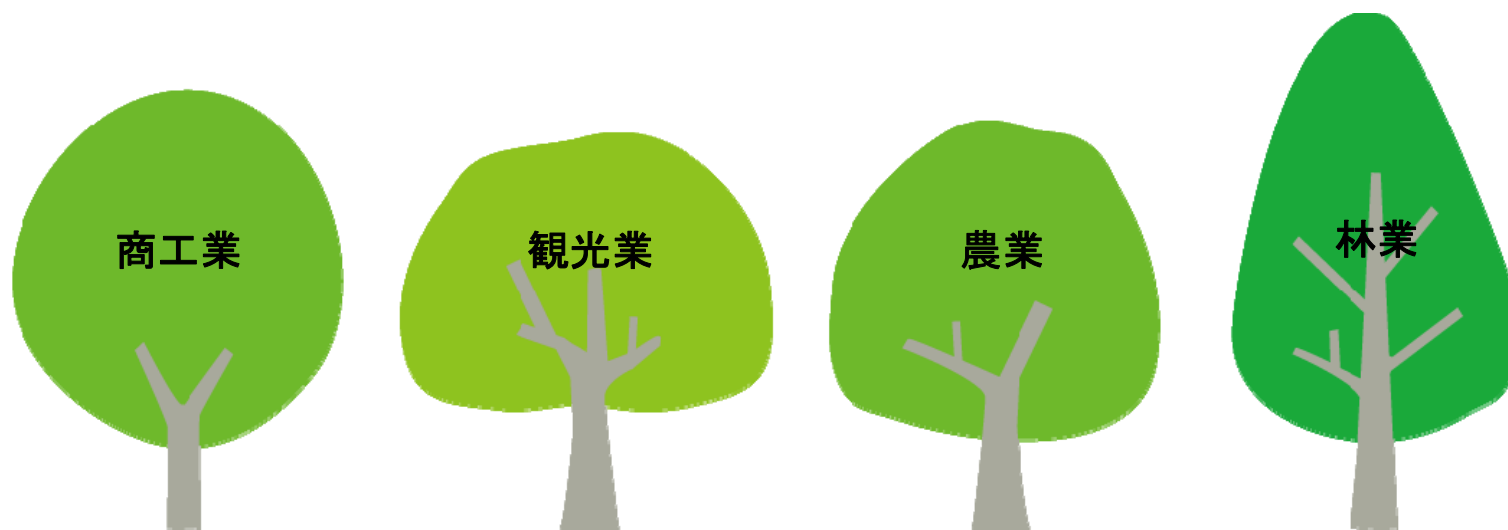


恵那市産業振興会議



2017年5月30日

岐阜県恵那市商工課、観光交流課、農政課、林政課

なぜ今、産業振興会議をするのか

- ・人口 2007年56,713人→2012年54,477人 **2,236人減少**
- ・製造品出荷額等 2007年約2,105億→2012年約1,713億円 **約392億円減少**
- ・年間商品販売額 2007年約881億円→2012年約667億円 **約214億円減少**
- ・林業総生産額/総生産額 2007年0.27%→2012年0.31%
- ・1人当たり観光消費額 東濃 2007年5,722円→2012年6,076円
飛騨 2007年15,317円→2012年16,861円 **差額約1万円**

次世代が今の生活を維持できるのか？

会議の活動目的

「地域の稼ぐ力をアップし、持続するまちをつくる」

■将来像(総合計画より)

人・地域・自然が輝く交流都市

～誇り・愛着を持ち住み続けるまち～

■会議の意義

より多くのお金を生む産業へ革新させる。

■会議の役割

産業振興ビジョンを策定し、事業を実施、検証、見直しする。

会議の推進体制

産業振興会議

【構成員】

市長、市関係部長、県、各産業の代表者、金融機関代表、関係機関

【アドバイザー】

有識者

関係団体

【商工業】

恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、金融機関、産業開発審議会、雇用対策協議会など

【観光】

恵那市観光協会、明知鉄道、旅館組合など

【農業】

JA東美濃農業協同組合、県、各種団体など

【林業】

森林組合、各種団体など

検証・調整

連携・調整

ビジョン検討部会

【構成員】

各産業分野の実践者、市関係課職員(商工・観光・農林)、恵那商工会議所、恵那市恵南商工会、

【アドバイザー】

学識経験者

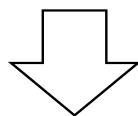
【ワーキング会議】

「商業・観光部会」「工業部会」「林業部会」に分けて検討

* 農業は「儲かる農業プロジェクト検討委員会(仮)」で検討

検討部会の役割

1. 問題や課題を明らかにして現状の把握と**認識を新たに**する。
2. 各産業の**理想の姿**を見出す。
3. 理想と現状の**ギャップを埋める**ため、先進地事例や成功事例などを調査・研究し、有効な事業を検討する。



振興会議へ提案

会議スケジュール

年度	2016			2017												
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
内容	定量・定性調査			産業振興ビジョン検討部会(月1回程度開催)												
							○振興会議		○振興会議						○ビジョン策定	

2018年以降も定期的に会議を開催し、進捗状況確認と見直しを行う

- 夕毛